

今重屋敷能舞館

今重屋敷能舞館の考案者は、かつての酒蔵を日本の古典舞踊と長浜とのつながりを祝うものに変えました。能面、衣装、楽器などが、巧妙に改装されたこの建物に展示されています。

博物館のマスクのコレクションには、何世紀も前の実物と、有名な能楽のマスクの複製が含まれています。1 階の中央の部屋には、音楽のパフォーマンスや、詠唱、踊り、動きのワークショップに使用される 1/2 スケールの能舞台があります。能を誰にとっても身近に感じてもらうというのが、この博物館の目的でもあるので、これらのワークショップに参加するか、ステージに立ってみることをお勧めします。2 階には、能楽堂で使用される小道具、楽器、衣装(装束)の例が展示されています。

能とその前身の猿楽は、近江国(現在の滋賀県)に深く根ざしており、日本有数の猿楽劇団の拠点となりました。この酒蔵は、16 世紀後半の長浜創設以来、長浜に住んだ著名な商家であり酒造家である今村家が所有する伝統的な邸宅の一部です。